未来への種蒔き

愛媛文教月報

題字　未来への種蒔き　　**揮毫**　鬼北町立泉小教頭　**増田　典嗣**　　解説は３面

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町１丁目５－33
エスポワール愛媛文教会館内
電話　(089)945－8644
FAX　(089)945－1459
E-mail　info@ehime-kyouikukai.jp

(2)学校紹介　姫山小学校
(3)ふるさとに生きる
(4)(5)特集「あの日あの時、今この時」
(6)学習資料作成の風景①
(7)「えひめ教育の日」の取組
(8)ふるさとスケッチ

真の根を伸ばす読書を

いよ本プロジェクト運営委員会
代表　**岡田　有利子**

人は人に慰められ、勇気をもらい、そして支えられる。書物の中の言葉もしかり。八方塞がりの中、時代や国境を越え、先人たちの生き方や考えに勇気をもらうことがある。それはまるで闇夜の街灯のように。

ＳＮＳ全盛の昨今、人はいともたやすく「つながる」ことができる。しかし、その数も拡散の早さも、数や速度を競うようで、私には軽く思えてならない。そして、何より他人による評価は、思う以上にあてにはならない。

一方、読書は自分自身と向き合う。いくらページをめくっても、誰も「いいね！」をしてはくれない。しかし、だからこそ、動いた自分の心や、得た確信にはゆるぎがない。よって静かに、そして確実に、その人の根幹となる。読書で得たものは、たとえ孤独になったとしても、その人を支えてくれる。

今の子どもたちは、そんな根っこを着実に伸ばしているだろうか。多感な思春期には誰も信じられない時も、孤独になる時もある。自分自身と向き合うことはたやすいものではないが、着実な根を伸ばすことができる時期でもある。「ＳＮＳ」ではなく「読書」を、私ならそっと差し出したい。

では、そんな時に、多感な子どもたちがどんな本を手に取ることができるのか。彼らの読書環境に思いを馳せる。押し付けられるより、自ら手を伸ばすほうが良い。彼らが伸ばした手の先に本はあるだろうか。子どもたちが根を伸ばすための豊かな土壌や、降り注ぐ光や雨は、足りているだろうか。

私たち「いよ本プロジェクト運営委員会」には、伊予市に住む人約百人が、お薦めの本を1冊ずつ紹介した『いよし百冊物語①②』という冊子を発行した。この事業では伊予市教育委員会の後援を得て、伊予市内にある全ての小中高校14校と教育支援教室の児童生徒が関わっている。その内の一つ、ある中学校に趣旨説明に訪れた時のこと。校長先生が即座に言った。「よし、あの子に本を選んでもらって『いよし百冊物語』に紹介してもらおう。あの子を輝かせたい。」普段からしっかりと生徒を見ている目に、子どもたちを包む温かな光を感じた。

―略歴―
（おかだ・ゆりこ）
昭和50年　八幡浜市出身
伊予市立図書館・松前町ふるさとライブラリーの勤務を経て、令和2年より私設図書館ビブリオAAを運営している。読書会や古本交換会など、「本」と「人」をつなぐ活動を伊予市から展開している。
令和3年　関奉仕財団 第15回教育文化奨励賞受賞。
令和6年　冊子『いよし百冊物語』発行事業について、第66回全国社会教育研究大会にて事例発表を行った。

聞響（ぶんきょう）

９月１日。夏の名残は濃いが、学校に子どもたちの声が戻る。久しぶりの友達との再会、宿題、これから始まる行事への期待や不安。胸の中にそれぞれの２学期がある▼「うさぎとかめ」の童話。うさぎは油断し、かめはあきらめなかった。そう教えられてきたところが、こんな読み方もある。かめは、そもそもうさぎを見ていなかった。見ていたのは、ただ頂上に立つ旗だった▼なるほど、と思う。私たちは案外、隣を見ながら歩いている。あの学校はどうしているか、あの先生の授業はすごい、自分の学級はどうか。比較は、ときに励みにもなる。だが、横ばかり見ていると、行き先を見失う▼子どもたちも同じだろう。点数や順位を比べると、うれしい日も、悔しい日もある。けれど、一人ひとりの歩幅は違う。速く走ることより、目指す場所を見失わずに歩き続けることの方が、ずっと難しい▼２学期は長い。運動会、文化祭、研究会。忙しさに追われると、教師も子どもも、目の前ばかりを見てしまう。そんなときこそ、顔を上げたい。私たちは何を目指して教壇に立つのか。子どもたちは、どんな自分になりたくて学ぶのか▼かめの歩みは遅い。けれど、視線はぶれなかった。新学期の始まりに、速さではなく、向いている方向を確かめたい。頂上は遠くてもかまわない。今日の一歩が、その旗へ向かっているならそれでいい。

ひとこと

サードプレイスに感謝

愛媛美術教育連盟
会長
児玉　正人

「サードプレイス」それは自宅や職場以外で、自分にとって居心地の良い場所を指す。私の場合、それは昨年秋から加入しているシニアソフトボールチームの活動場所だ。まれにしか参加できない練習では「○○さんは腰痛で通院らしい」「○○さんは田植えらしい」など、耳慣れない欠席理由に和み、練習を開始すると、「○○さん、大丈夫か」など、お互いの体調を気遣いながら、徐々にチーム力を向上させていく。それらがなんとも心地よくかけがえのない存在となっている。

そんな穏やかなチームが、５月の大会で強豪チームと対戦した際に、雰囲気が一変した。序盤から大差をつけられ、気が緩んでいた訳ではないが、自チームが攻撃中に凡ミスから好機を逃した。その瞬間、普段優しく寡黙な監督が、初めて聞く厳しい声でそのプレーを叱責し、チーム内に緊張感が走った。その叱責は決して感情的なものではなく、私たちへの期待と、真の楽しさを追求している監督の姿勢と熱意の表れだと、チームの誰もが理解でき、やる気を奮起させる言葉だった。

私は会長と校長という二つの重責を担っており、この監督の姿勢に学ぶことが多い。私は職場で細かな指示を出し、その反応から、どんと構えていてくれ、それぐらい分かっている…と言われている気がして、自分を振り返ることがある。

職務の任期を意識する今、教職員のセカンドプレイスである職場をより充実したものにし、信頼関係も築きたい。そのためにも、教育現場を離れて、人間性を磨く学びの時間と空間を、今後も大切にしていきたいと思っている。

（松山市立南第二中学校長）

学校紹介 No270

松山市立姫山小学校

地域とともに「すすめ、姫山号」

１　姫山小学校の歴史

平成７年４月、松山市で46番目の小学校として開校した本校は、一昨年度に創立30周年を迎えました。校舎は船の形を表しており、「姫山号という一つの船に乗り合わせ、ともに様々な経験を積んでいきながら目的地に到着する」というイメージは、子どもたちにも定着しています。オープンスペースや多目的ルームなどの開放的な環境の中で、子どもたちはのびのびと学校生活を過ごしています。

２　「自転車部」の活躍

本校の特色として欠かせないのが、自転車部の目覚ましい活躍です。地域の人が中心となって指導をしてくださり、日々の粘り強い練習のおかげでチームワークも育ちました。その結果、一昨年度は全国大会で団体第８位、昨年度は第13位という輝かしい成績を収めました。

そして、今年度も「交通安全こども自転車愛媛県大会」で優勝し、８月の全国大会に向けて練習に励んでいます（本稿の執筆時点）。

３　PTA・地域とともに

毎年６月末に「見守り隊、ありがとうの会」を開催し、日頃から登下校を見守ってくださる地域の「見守り隊」の方々へ感謝の気持ちを伝えています。地域の方々の紹介や代表児童によるお礼の言葉の発表に続いて、全校児童で作成したメッセージカードを代表の方へお渡ししています。子どもたちにとって、自分たちの学校生活が地域の方々に支えられていることを実感する大切な機会となっています。

姫山地域の最大の強みは、登下校の見守りなどによる学校を支える「地域ぐるみの教育力」です。地域の深い愛情こそが、子どもたちの自己肯定感を育む最高の土壌となっています。

これからも地域に愛され、「一人一人と向き合う」教育の原点を大切にし、子どもたちの誇りある学校づくりを目指していきたいと思います。

（教頭　長井　正樹）

題字に寄せて

未来への種蒔き

鬼北町立泉小
教　頭
増田　典嗣

「子どもはなぜ学校で勉強するの？」

教壇に立っていると、よく耳にする言葉です。その問いに対して、私は「勉強は学校の成績を上げるためだけにするものではありません。未来の自分のために、学校という畑に勉強という種を蒔いているのです。」と伝えています。

学校には、勉強が好きな子や得意な子、反対に勉強が嫌いな子や苦手な子など、様々な子どもたちがいます。その子どもたちが、自らの成長を目指して学び続けられるよう、私も教師として、一人一人の未来に向けて大切な種を蒔き、その成長を支える存在でありたいと思います。

ふるさとに生きる　No.136

歌は元気の源

田尻　淑恵　先生

訪問者
越村慎治
（四国中央教育会　副会長）

1　四国中央少年少女合唱団の団長

60年ほど前に発足した伝統ある合唱団で、毎週土曜日、宇摩教育会館で小1～高校生17名を指導しています。県大会、全国大会、合唱祭などで歌声を披露する中で、自分を表現する喜びを感じ、歌詞に込められた思いも分かる子に育ってほしいです。

2　女声合唱団川之江、童謡教室の指導

高齢者が多い団体ですが、週に一度、または月に一度、声を出して歌い笑顔はじける時間は、心と体の元気の源になっています。また、合唱祭や文化祭で歌声を披露するのは、緊張しつつも、皆と一緒に輝ける非日常のすてきな時間でもあるのです。

3　個人リサイタルに挑戦

退職後、合唱指導に関わる中で発声などの本格的な学びの必要性を感じ、ヴォイストレーニングを始めました。そして、自分を試す場として、これまで4回、しこちゅ～ホールでリサイタルを開催しました。観客の方々が「元気をもらったよ。」と笑顔で言ってくださることが何よりもうれしく、昨年はプロの声楽家に交じって『おもいでの心の歌コンサート』にも出演させていただく機会を得ました。歌を通して皆さんと心がつながる喜びを感じています。

4　読み聞かせ『妻どりいむ』への参加

月1回、妻鳥小学校で行っている読み聞かせでは、キラキラした瞳で聞いてくれる子どもたちから元気をもらっています。日本のよさを伝えたいと昔話を選ぶことが多いのですが、心に響くことを願っています。

5　東宮山古墳の守部

妻鳥町にある東宮山古墳は、古墳時代後期の築造と推定され、木梨軽皇子（第19代允恭天皇の皇子）の墓と伝えられています。宮内庁により「妻鳥陵墓参考地」に治定され、3年前に亡くなった父（佐藤和正）の跡を継ぎ、陵墓の管理や掃除、宮内庁の視察時の対応などを務めています。妻鳥小3年生が地域を学ぶ時間には、説明もしています。

インタビューを終えて

対談の最後に田尻先生は、「どうしようかと迷ったら一歩踏み出してチャレンジしてみることが大事。中でも歌は元気の源」と笑顔で語られました。

田尻　淑恵先生（74歳）
（四国中央市妻鳥町在住）

祝　受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

阿部由美子様	88歳	元新居浜市立金子小学校長　新居浜市
宇都宮長男様	88歳	元三瓶町立蔵貫小学校長　西予市
田中　秀典様	88歳	元西海町立福浦小学校長　愛南町

中古自動車買取のご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、
株式会社JCMと提携店契約を結んでおります。
組合員様とあらかじめ日時を打ち合わせし、
ご指定の場所にて無料出張査定をいたします。

ご不要な車の処分や、車を買い替える際の下取り
価格のご相談は、是非(株)JCMへご連絡ください。

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または　郡市学校生活協同組合

特集

あの日あの時、今この時

あれから60年・これからの60年

今治・越智教育会
ＯＢ
越智　昭二

昭和41年5月、旧今治市に隣接する越智郡の小学5年生だった私は、今治市内旭町大通りの沿道で日の丸の小旗を振っていました。松山市で開催される全国植樹祭にご出席のため来県され、西条方面から今治市内を通過される天皇皇后両陛下を歓迎するためでした。

あれから60年。今年5月、本県2度目の全国植樹祭が令和の天皇皇后両陛下のご出席のもと、松山市を中心に開催されました。テーマは「育てるけん　伊予国から　緑の宝」森林整備・木材利用の理解の深化が目的でした。

60年前の私たちには、60年後、気候変動による異常気象が日常化した今の地球で暮らすことになるとは、想像できませんでした。私が最も危惧するのは地球温暖化です。国内では、「ゲリラ豪雨・猛暑日・線状降水帯・酷暑日」等、次々と新語が誕生。海水温の上昇が原因のサンゴの白化現象や、海流の移動による、水産業への深刻な影響。

地球規模で見ると、スーパーエルニーニョ現象が偏西風の蛇行を引き起こしたことによる欧米各国への熱波襲来、北極・南極の氷山の崩壊、氷河雪崩、永久凍土の融解等、数々の異変が現実のものとなっています。

これらの根本原因は、言うまでもなく人間の活動による温室効果ガス（二酸化炭素）の排出です。森林の助けを借りつつ、60年後の子孫が、持続可能な地球環境で暮らせているか？今こそ人類の叡智が問われています。

コミュニケーションは目と表情で

松山市立桑原中
教　諭
遠藤　公憲

「話をするときは、顔を見てほしい。」

学生時代、聴覚に障がいのある友人から指摘された言葉が、教員人生の基本になっている。聴覚に障がいのある人は、相手の口の動きや手話を見なければ、話の内容を理解しにくいからである。それ以来、人と接する時には常に、相手の目と表情を見ることが大切だと考え、行動するように心掛けてきた。また、聴覚に障がいのある人とのコミュニケーションのあり方についても関心をもち、教職に就いても聴覚に障がいのある生徒の支援に積極的に関わってきた。

20年以上の通常の学級担任の経験の中では「片方の耳が聞こえにくい生徒」「補聴器を装着した生徒」との有効なコミュニケーション方法を考えたり、聴覚に障がいのある保護者と手話で会話したりすることもあったが、そのときも相手の目と表情を見て対応することが必要だと改めて実感した。文化祭で手話を使った人権劇を発表したときには、手話は、手で表現するだけでなく表情が大事だと気付いた生徒が、周囲の友人に伝えていたことに感動させられた。

その後、6年間、通常の話し声を聞き取ることが困難な生徒の特別支援学級の担任も経験したが、通常の学級であっても特別支援学級であっても、生徒には目と表情を見て人とコミュニケーションをとることが「人と共に生きる力」を高めることだと語り続けてきた。この思いを信じて、日々の教育活動を継続させていきたい。

教育の振興を目指す！
日教弘の「3大事業」
教育振興事業
奨学事業
教育研究助成事業
教育文化事業
福祉事業
共済事業
（提携保険事業）
公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358　FAX(089)932-8357

オフィスのことは何でもご相談ください！
AGUSAS
AGENT FOR USERS WITH SUPPORT AND SOLUTIONS
株式会社アグサス
本社：〒791-8021 愛媛県松山市六軒家町２番３０号
TEL：089-923-6666 / FAX：089-923-6900
営業拠点：松山・新居浜・今治・四国中央・大洲・宇和島
URL：https://www.agusas.co.jp

ライフワーク

伊予教育会
ＯＢ
庭瀬　臣吾

長男が、地元のサッカースポーツ少年団に入団したのを契機に、地域住民の一人として私がその指導に携わるようになって、約30年になります。そして、今も団の運営に関わっています。その間には、サッカーの県大会やフットサルの全国大会に出場する機会にも恵まれました。これは、子どものたちの力はもちろんですが、ボランティアで参加している指導者や保護者の方々が「地域の子どもたちを、サッカーを通して健全に育成しよう」という同じ考えの下で、労を惜しまず一丸となって取り組んできた成果だと思っています。

また、スポーツは、「子どもを大人にする」と言われます。その言葉のように、このサッカースポーツ少年団の活動を通して、協調性、規律、忍耐力等を培い心身共に成長した子どもたちが、社会人として立派に活躍していたり、現在も当時の仲間と繋がっていたりする様子を目の当たりにすると本当に嬉しく思います。

しかし、近年は、子どもたちがスポーツに親しむ環境が変化してきています。ボランティアでの指導に支えられていた無償で指導する地域のスポーツ団体に代わって、有償のスポーツクラブが主流になりつつあります。そして、令和12年度からは中学校の部活動も地域に移行する方針が示されています。

このように変化している子どもたちがスポーツに親しむ環境を見守りながら、私にできる関わりをこれからも続けていきたいと思っています。

「あゆみ」

大洲市教育会
ＯＢ
亀田　典子

学級担任をしていた頃、毎日の楽しみは、「あゆみ」（予定帳兼日記帳）を読むことだった。話題も、行数も、一人一人みな違う。それぞれの顔を思い浮かべながら、赤ペンを入れる。

家族のことや手伝いの様子を書いてくれていたのは、学校では見られない一面を知ることができうれしかった。学期末の個人懇談で話題にして、保護者と思いを共有することにも役立った。「時々こっそり『あゆみ』を見るんですよ。交換日記のようでなんだかうらやましいです。」とおっしゃったお母さんがいた。まさに学級担任の役得だと思ったものだ。

授業の感想を書いてくれるのはもっとうれしかった。生徒の受け止め方を知る機会にもなり、説明不足を補うこともできた。ある時、「古文の学習は何の役に立つのか？」と書いてきた生徒がいた。途端にスイッチが入る。「温故知新」、古典学習の意義について書き出すとペンが止まらず次のページまで真っ赤な返信になってしまった。「俺の『あゆみ』なんやけど……。」とぼやかれたことも、忘れられないエピソード。

指導というより趣味のような『あゆみ』点検であった。一日のうちに全員に声をかけることは簡単ではない。『あゆみ』と向き合う時間は、わずか数行であるけれど一人一人と対話する貴重な時間だった。楽しい時間だった。自己満足かもしれないが、その時間を大切にしていたことは、私の財産となっている。

文教俳句

－俳句ポストより－

草むらに隠れたつもり青蛙　松山市　遠藤　節子

葛の菓子添へて氷室の節会かな　松山市　遠藤　節子

つばくろに軒貸す道後椿の湯　内子町　森　明久

九九唱へ畦に並ぶ子草を引く　松山市　池田　容子

ほととぎす夜明けの早き海の街　松山市　池田　容子

合カギは内ポケットに夏憂ひ　松山市　三谷　美貴

紫陽花や雨にうたれて茎伸ばす　高知県　清水　正一

「言葉の時代」は終わらない。
言葉と歩く、光村の教育情報誌が始まりました。

光村図書出版株式会社
141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9　Tel: 03-3493-2118

サポート共済について

サポート共済（年金払特約付半年払保険料併用特約付こども特約付団体定期保険【生命保険】）

サポート共済は、愛媛県内の学校生協組合員のみなさまだけの相互扶助の制度です。

万一の（死亡した）場合、公的遺族年金が支払われますが、ゆとりある生活水準を維持するのは難しいといわれています。サポート共済は、失われる所得部分を補完する制度です。

※退職後も、保険年齢８０歳までの保障が確保できます。

毎年１０月頃に明治安田の職員が学校を訪問し、ご案内いたします。

制度内容等の詳細は、パンフレットをご参照ください。

＜制度内容に関するお問い合わせ先＞
愛媛県学校生活協同組合連合会
〒790－0823
愛媛県松山市清水町３丁目８２
ＴＥＬ：089－925－0555
受付時間：９：００～１７：００
（土日・祝日・年末年始を除く）

＜その他お問い合わせ先＞
明治安田生命保険相互会社四国公法人営業推進部
〒760－0017
香川県高松市番町１丁目７－５
明治安田生命高松ビル2階
ＴＥＬ：087－821－6811
受付時間：９：００～１７：００
（土日・祝日・年末年始を除く）

MY-CF-26-386-804835-260511-1

特別取材

学習資料作成の風景①

― 問いの向こうに、子どもの学びがある ―

「この一問で、子どもの何が見えるのか。」…机上の１枚の問題を囲み、教師たちの対話が始まります。愛媛県教育会の学習資料は、本県の教師が手づくりし、愛媛の子どもたちの確かな学習の定着と向上を願って編集しているものです。今回は、小学校国語科の学習資料作成委員会を訪ね、その現場を取材しました。

学習資料は、評価のためだけではない

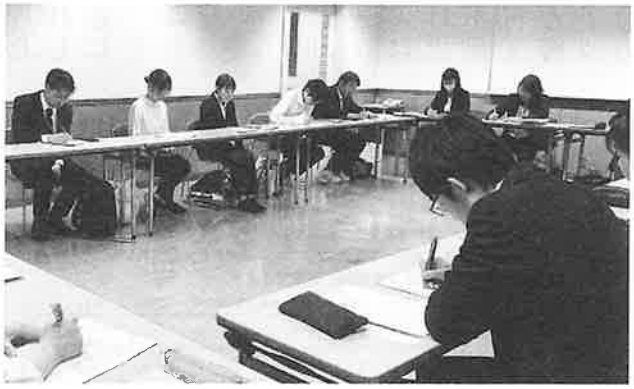
小学校国語科の学習資料には、「力だめし」と「もじのけいこ」があります。県内の小学校で採択されている、光村図書と教育出版の教科書に完全準拠し、どちらの教科書でも活用できるように作られています。

診断・指導・評価は学習指導の３要素ですが、その中で「力だめし」は、学びの定着を診断し、評価すると同時に、その後の指導にも生かせる資料として活用できるように作成しています。また「もじのけいこ」は、国語教育において、基礎・基本となる「言語事項」の中の、言葉や文字力の養成のために役立つよう作成しており、過去40年にわたって編集を続けています。

新年度から１か月。もう次の学びを見つめて

取材したのは５月１日。新学期が始まってまだ１か月もたたない時期でした。普段の作成委員会では「光村班」と「教出班」に分かれて編集会議を行っていますが、この日は新年度１回目の会ということで、総勢21名が一堂に集まりました。顧問校長先生の挨拶の後、まず確認したのは、問題を作る技術よりも、学習資料を作る目的でした。

次に、世話係の先生から配付されたのは、「作成要領」と「作成上の注意」。年間計画を確認するだけではなく、評価に役立つ学習指導資料にするため、学習指導要領に記載されている内容に即した用語を用いることなどについて、図や例題を用いて共通理解を図ります。用語一つにも、子どもの学びを正しく捉える重みがあるからです。



全体で作成方針を確かめた後、学年ごとの協議へ

問題を解く以前に

共通理解を終えると、担当学年ごとのグループに分かれ、どの学年もすぐに活発な話合いが展開されていきました。

１年生のグループでは、テスト全体の問題数や配分を検討。「まだ語彙が少なく、学習した仮名や漢字も少ない学年だからこそ、１年間を見通して作ろう」という声に、全員がうなずきます。

４年生のグループでは、過去の問題と見比べながら、内容がマンネリ化していないかを確認。情報を交わすほど、よりよい問いの形が見えてきます。

６年生のグループでは、聞き取りや読み取りの問題を工夫したり、設問の文章を熟慮したりすることを確認。とにかく、習う漢字が多いので漢字の書き取りにも配慮しているとの言葉に苦労が想像できました。問題を解く以前に、問題文が子どものつまずきになってはならない…そんな細やかな配慮が随所に見られました。

問題を作ることは、授業を見つめ直すこと

忙しい中で委員を引き受けた理由をお伺いすると、返ってきたのは、作成する側だからこそ得られる学びでした。

「普段の授業での指導に役立つ」
「子どもの学力向上の一助になってほしい」
「自分が作った問題に対する子どもの解答が、自分の授業を振り返る材料になる」
「何より、自分自身を勉強させてもらっている」
「他校の先生との交流が楽しい」

どの言葉にも、「小学校国語科学習資料」を自分たちが支えているという誇りと、子どもの学びに役立ちたいという喜びがにじんでいました。

問題を練り上げる時間は、子どもの姿を思い浮かべ、授業の在り方を問い直す時間でもあります。愛媛の子どもたちのために、熱心に取り組む作成委員の先生方。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

愛媛県教育会　学習資料作成委員会　取材記事

11月1日「えひめ教育の日」

宇和海と太平洋、二つの海から恵みをうける、里山の豊かな自然に囲まれた感動と愛のあふれる愛南町から、子どもたちのかがやく未来をひろげよう

愛南町ゆるキャラ「なーしくん」

「えひめ教育の日」
・推進大会
・推進フェスティバル
・記念イベント

推進テーマ
かがやけ未来！健やか愛顔（えがお）の　えひめっ子

今年の推進大会・推進フェスティバルの舞台は、愛のあふれる愛南町の「御荘文化センター」です。

未来を担う子どもたちが、予測困難な状況を乗り越え、それぞれに夢の実現にチャレンジしながらたくましく育ってくれることを願い、「かがやけ未来！健やか愛顔（えがお）の　えひめっ子」のテーマのもと、次の概要で開催します。

1、日時　10月31日（土）12時30分から
2、場所　愛南町御荘文化センター（南宇和郡愛南町御荘平城3063番地1）
3、内容

【第1部】
◆推進大会
・主催者あいさつ
・来賓祝辞
・推進宣言
・表彰　関連写真
・「愛のあるバナナ」贈呈

◆推進フェスティバル

ステージ発表
太鼓演奏　福浦小学校
防災小説発表　御荘中学校
研究発表　南宇和高校
伝統芸能　家串の荒獅子

展示発表 物産販売
展示発表　南宇和高校
物産販売　南宇和高校
北宇和高校

【第2部】
◆記念イベント
体験型ワークショップ「シゴト☆ジブン発見カード体験と企業の話」
えひめ若年人材育成推進機構（ジョブカフェ愛ｗｏｒｋ）

愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん

▼教育講演会報告▲

去る6月16日、サイボウズ代表取締役社長の青野慶久先生を講師に迎え、教育講演会を開催しました。「愛媛から世界へ－学校教育が育んだ『起業家精神』」と題した講演を、約120名の参加者が熱心に聞き入りました。

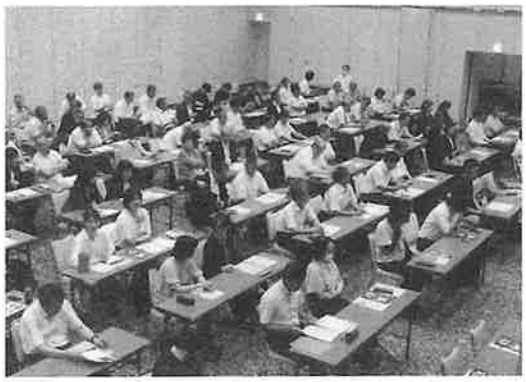
青野先生は今治市のご出身。一クラス15人ほどの小規模校で小中学生時代を過ごした経験が、仲間意識や、「何のために学ぶのか」といった考える力を育んでくれたそうです。高校時代のアルバイトの経験から「わくわく感のある仕事」の大切さに気付き、大学時代にコンピュータに出会ったことが今につながっていると話されていました。約30年前に仲間3人と創業し、さまざまな課題にチャレンジしながら会社を成長させてこられました。また、公平性よりも個性を重視し、生産性と幸福度を追求する経営を進めています。その結果、「働きやすさ」と「働きがい」を両立する企業として、プラチナ企業ランキングで一位に選ばれるなど、高い評価を受けています。

青野先生は、「学校で教えてほしいこと」として、「理想の法則」を紹介されました。「理想の法則」では、一人ひとりが理想をもち、その理想を、対話と議論を通して重ね合わせることで、共通の理想を築いていくことの大切さが語られました。

この考えは、学校教育が目指す理想の形の一つだと思いました。

1時間ほどの講演の後は「質問コーナー」です。ここでは、青野先生の思いや考えが鮮明に伝わってきて、会場からは次々と質問の手が挙がりました。先生は、質問の一つ一つに丁寧に答えてくださるので、講演内容がより具体的になり、多くの参加者の心をわしづかみにしていました。

2時間近くの時間があっという間に過ぎ、熱気に包まれた中で講演会は幕を閉じました。参加者アンケートからは、「学校経営に役立つ、学びの多い会だった」「企業経営の中に、社会貢献を位置付けている姿勢に感動した」「同じ愛媛から、こんな志の高い人が活躍されていることに誇りを感じる」などの声が届き、明日への活力になる有意義な講演会となりました。



ふるさとスケッチ

No.501

小女郎狸

新居浜市立南中
教諭
楠　大河

一宮神社の一番楠に祀られている小女郎狸は、古くからこの大楠に棲む利口な狸であった。

ある日、初穂の鯛を盗んで宮司に森を追われた小女郎狸は、和尚に化けて漁船に忍び込む。そこでも鯛を盗み食いして正体がばれてしまうが、「金の茶釜に化けるので、大阪に着いたら売って鯛の代金にしてほしい」と約束し、難を逃れる。約束を果たすと、美しい娘に化けて道頓堀などを見物した。

後には一宮の森へと戻り、余生を過ごしたと伝えられている。

ご冥福をお祈りします

東堂	政恵様	100歳	四国中央市土居町蕪崎一四一五一二	8・1・30
山本	義子様	98歳	八幡浜市大平一三	8・6・11
村上	好郎様	94歳	今治市吉海町名二三三	8・6・11
上久保	政夫様	86歳	大洲市大洲八五一七	8・6・14
久賀	福江様	95歳	四国中央市川之江町一〇七一五五	8・6・17
河野	清巳様	88歳	喜多郡内子町五十崎甲三九七一六	8・6・21
阿部	康茂様	92歳	西宇和郡伊方町三崎一〇四	8・6・23
松岡	賢一様	87歳	喜多郡内子町五百木二〇五五	8・6・30

ローカルトピックス

河辺「浪漫八橋」

私が勤務している河辺小校区には、明治から平成にかけて架けられた八つの屋根付き橋があります。それぞれ「御幸の橋、三嶋橋、豊年橋、帯江橋、龍神橋、ふれあい橋、龍王橋、秋滝橋」と呼ばれ、「浪漫八橋」と言われています。屋根付き橋は、全国でも珍しく、せめて橋の上だけでも雨露をしのげるようにという先人の知恵と優しさから造られたものだと言われています。

その中でも私のおすすめは、「御幸の橋」です。杉皮葺きで、太鼓橋の形をしたこの橋は、県指定の文化財で、浪漫八橋の中で最も古い橋です。安永２年（１７７３年）に天神社の参道として架けられ、日本百名橋にも選定されています。初代は、明治19年の洪水で流され、現存しているのは２代目です。ケヤキの木で造られており、釘は１本も使われていないそうです。

田舎の風景に囲まれながらのんびりしたい人、是非お越しあれ。

（愛媛文教月報編集協力委員　飯野　剛宏）

御幸の橋

愛媛県教育会の福利厚生事業

明治安田「みんなのMYポータル」が

リニューアル!

加入者でなくてもアクセスできます!

積立年金制度のご案内やお手続きページへ、すぐアクセス!

アクセスはこちらから!

検索ワード　明治安田 みんなのMYポータル

アクセスアドレス

※通信料はお客さまのご負担となります。

積立年金制度のご案内・制度内容の確認ができる

資料請求や各種手続きがスムーズに

スマホ・PCでいつでもかんたんアクセス

加入者でなくてもどなたでもアクセス可能!

積立年金制度への加入申込みは、11月に所属所へ配布されるパンフレット等をご覧ください。

お問い合わせ先

愛媛県教育会
〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町１丁目５－３３
☎ 089-945-2511

明治安田生命保険相互会社
四国公法人営業推進部
〒760-0017 香川県高松市番町１－７－５ 明治安田生命高松ビル２F
☎ 087-821-6811

令和８年熊本地震義援金について

令和８年熊本地震によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表し、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

愛媛県教育会では、被災された方々を支援するため各地区教育会を通じて義援金の協力をお願いすることといたしました。会員の皆様の温かいご協力をよろしくお願い申し上げます。